

高等学校 令和7年度（1学年用）教科 人間と社会 科目

教科： 総合的な探究の時間 科目： 総合的な探究の時間(人間と社会) 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 7 組

教科担当者： (1組：松岡・岡、2組：橋本・川島、3組：藤本・菅野、4組：石黒・伊藤、5組：増岡・佐向、6組：山本・西、7組：小野・川副)

使用教科書： (人間と社会)

教科 人間と社会 の目標：

- 【知識及び技能】 予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見することができる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 社会的現実にはらし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関りから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>第2章 学ぶことの意義</p> <p>【知識及び技能】 自己と実生活や実社会との関わりから、生徒が新しい課題を自ら見いだしたり、考察に必要な知識を身に付けたり、情報を整理・分析したりすることや、解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりするなどの技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたり、新たに情報を集め整理・分析したり、新しい知識を得たりすることによって、意見や考えを深めるとともに、「学びの意義」とは何か考えるプロセスを経由することで、思考力や判断力を高め、課題発見、課題解決の力を育てる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ホームルーム活動の中で、演習やディスカッションを主体的・協働的に取り混ぜることで、集団活動における人間としての在り方生き方に対する自覚を深めるとともに、社会の中での自己の良さや可能性を活かす力、前向きに自己の将来を設計する態度などを育てる。</p>	<p>○指導事項 「人間と社会」の教科書を通じて、「学ぶことの意義」についてグループで考える。</p> <p>○教材 「第2章 学ぶことの意義」 ・ワークシートを活用 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 自分の考えを具体的に他のメンバーに伝えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 グループ内の意見を基に、自分とは違う意見について理解し、自分の意見との違いを認識する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめることができる。グループのメンバーの話をしっかりと聴くことができる。</p>	○	○	○	4
	<p>第8章 チームを動かす</p> <p>【知識及び技能】 「リーダーシップ」について、「リーダーシップの発揮の仕方」等について、情報を整理し、理解すること、自分の考えを効果的に説明したりする技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自分とは異なる様々なものの見方・考え方があることに気付き、道徳性を高め、自己の考えを深めるとともに、新しい考え方を受け入れて、多様な価値観が存在することを体験的に学ぶことで相手の考えを理解し、他者の価値観を尊重できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ホームルーム活動の中で、演習やディスカッションを主体的・協働的に取り混ぜるとともに、他社と協力する重要性を演習を通し学び、道徳的な規範意識を深め、社会の中での自己の良さや可能性を活かす力、前向きに自己の将来を設計する態度などを育てる。</p>	<p>○指導事項 「人間と社会」の教科書を通じて、「チームを動かす」についてグループで考える。</p> <p>○教材 「第8章 チームを動かす」 ・ワークシートを活用 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 自分の考えを具体的に他のメンバーに伝えることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 グループ内の意見を基に、自分とは違う意見について理解し、自分の意見との違いを認識する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分の考えをまとめることができる。グループのメンバーの話をしっかりと聴くことができる。</p>	○	○	○	4

